

MED Associates, Inc. Behavior Instruments Catalog

ENV-414S Stand Alone Grid Shocker / Scrambler



MED Associates, INC.(U.S.A)社製卓上型ショッカー・スクランブラー

本装置は、小動物用いた行動科学研究実験用の電気刺激呈示装置です。

行動科学研究実験機器の広範囲な製品製造元として、世界的な販売実績を誇る米国 MED Associates, INC.社の製品です。

- 使いやすいスタンド型、机上配備も可能
- コンパクト・軽量
- 2レンジ(0-1mA/0-10mA)の定電流出力、ショック・スクランブル機能付き
- 外部信号入力付き (リショック ON・OFF のリモート機能)
- フットショック用として、シャトル・アボイダンス実験、オペラント実験(負強化系)、Fear Condition(恐怖条件付け)実験、その他に適用



【正面】

- ① POWER : 電源スイッチ
- ② OPERATE LED : オペレート LED (ショック出力中点灯)
- ③ MANUAL OPERATE : 手動出力操作スイッチ (ショックの ON・OFF: 押し下げている間、持続出力)
- ④ DUMMY LOAD IN/ OUT : ダミーロード接続/切り離し(電流設定確認用)
- ⑤ OUTPUT CURRENT ADJUST : 出力電流設定つまみ(設定ロックノブ付き)
- ⑥ OUTPUT CURRENT : 出力電流確認用インジケータ(7セグメント LED)
- ⑦ 0-1/ 0-10mA RANGE : 出力電流範囲(レンジ)切り替えスイッチ



【背面】

- ⑧ POWER IN : AC100V 電源ケーブルソケット(ヒューズ内蔵)
- ⑨ GRID OUTPUT : ショック出力コネクタ(ケージ、床グリッドへ接続) ・スクランブルされた電気刺激が、直接出力されています。
- ⑩ MED Control : MED 社のオペラントシステムと連動するための制御コネクタ
- ⑪ 50KΩ DUMMY LOAD Volt : 正面パネル、DUMMY LOAD が IN の時、出力電圧を確認出来ます(テスターなどをご用意ください)
- ⑫ TTL / Switch Closure : MED 社以外のシステムで、リモート制御するための制御信号入力 Hi(+)=5V、Low(-)=0V で、Low の間出力持続(TTL 信号)

■仕様

- 電気刺激出力 : AC 定電流制御方式、9 ライン・グリッドスクランブル
- 電気刺激出力コネクタ : D-Sub 型 9pin、メス
- 外部リモート入力 : MED システム入力 1 系統、汎用入力 1 系統(TTL、Low=ON)
- 外形寸法・重量 : 215(W) X 300(D) X 68(H) mm (突起物含まず)、約 1.5Kg
- 電源 : AC100V、50/60Hz

■本装置の性能、仕様、外観および価格については、予告無く改訂する事があります。予めご了承ください

【ご使用方法】

- 1.電源コードを⑧に接続
- 2.専用ショックケーブルで、ケージグリッドと出力コネクタ⑨を接続
- 3.電源スイッチ①を ON
- 4.DUMMY LOAD-IN/OUT スイッチ④を“IN”側にセット
- 5.出力レンジスイッチ⑦で 0-1mA/0-10mA を選択
- 6.Manual Operate スイッチ③を押し、電流値を⑥で確認 (押し続けて、出力継続)
- 7.出力電流を⑤の OUTPUT-Current-ADJUST で調整し、⑥で確認。
- 8.設定後、Manual Operate スイッチ③を離す。
9. DUMMY LOAD-IN/OUT スイッチ④を“OUT”に設定
- 10.以後、Manual Operate スイッチ③を押し、外部入力⑫に ON/OFF 信号を入れる毎に出力されます。
*ショック ON で、②の LED が点灯します。